



# ロボットとおしゃべりを楽しもう！ 音声対話システム 「GoTalk ヴイストン Lite」

前編

Agilingua, LLC. (アジリングア、エルエルシー)とヴイストン株式会社が、ロボットに音声対話機能を付加する音声インターフェース開発ソフトウェア「GoTalk ヴイストン Lite」を発売しました。

「GoTalk ヴイストン Lite」は、ロボット用小型 CPU ボード「VS-RC003/HV」に対応。ユーザーが、自分で音声インターフェースプログラムを作成し、ロボットを音声で操作したり、ロボットとの会話コミュニケーションを楽しむことができます。

もんかつ 三月 兎

## ■ホビーロボットの楽しみが ■広がる「GoTalk」

GoTalk は、ロボットを声で操作したり、ロボットとおしゃべりするためのプログラムソフトウェアです。

単なる音声認識ソフトではありません。ユーザーとロボットが自由に会話できるのです。ロボットと「おはよう」「よく眠れた？」というあいさつをやりとりしたり、ロボットに向かって「歩け」と命令して歩かせたりできます。

音声操縦に似ていますが、ユーザーの指示に従うだけではなく、「回れ」と命令した時に、ロボットが「どちらに回りますか」と質問を返すなど、ユーザーと対話してからアクションをとる高度な双方向インタラクションまでプログラミングできるのが特徴です。

自分と会話をしながら動くロボットを見ていると、「ロボットを操縦する」というよりも「ロボットと一緒に遊ぶ」という感覚になります。

GoTalk は、ロボットと自分好みの会話を楽しむための新しいツールです。GoTalk を使うと、今までよりずっと個人的になったロボットとのコミュニケーションの幅が広がります。

このように、オリジナルな音声対話をプログラムする楽しみと、ロボットと会話をして操縦する楽しみを体感できるソフトウェアが GoTalk です。

音声対話システムをプログラムするというと、難しい技術が必要なイメージがありますが、GoTalk で基本の会話を作るのは、とてもカンタン！

テキストボックスに、ユーザーの台詞と

ロボットの返事を打ち込むだけで、完成してしまいます。プログラムが初めての初心者でも簡単に使うことができます。

一方で、ロボットのセンサが反応した時に発話をしたり、モーションと同期して会話をしたり、ユーザーに質問を返すなどの高度なプログラムも可能です。

GoTalk はわかりやすいユーザーインターフェースで、ビギナーからアドバンスユーザーまで、楽しめるようになっています。

Agilingua, LLC. は、2009年2月にレゴマインドストーム NXT 版の GoTalk を発売しました。既に多くのユーザーが、ロボットとのオリジナルな音声対話を楽しんでいます。

そして、2009年11月に、いよいよ二足歩行ロボットに対応したバージョンの「GoTalk ヴイストン Lite」がリリースされました。

本稿では、「GoTalk ヴイストン Lite」と RB2000 を使い、音声会話システム「GoTalk」を紹介します。

### NOTE

GoTalk は下記サイトにて、ダウンロード販売しています。

「GoTalk ヴイストン Lite」  
[http://www.vstone.co.jp/robotshop/index.php?main\\_page=product\\_info&products\\_id=1599](http://www.vstone.co.jp/robotshop/index.php?main_page=product_info&products_id=1599)  
 15,000 円 (税別)

「GoTalk レゴ・マインドストーム NXT」  
<http://www.go-talk.info/jp/main/index.php>  
 3,980 円 (税込)

## ■必要な環境と「GoTalk ヴイストン Lite」のインストール

「GoTalk ヴイストン Lite」(以下、

GoTalk) は、ロボット用小型 CPU ボード「VS-RC003/HV」を搭載したロボットに対応しています。使用するには、Windows XP、または Vista 搭載のパソコンに、ロボット動作作成ソフト「RobovieMaker」をインストールする必要があります。



写真 1

### NOTE

対応する二足歩行ロボットキット  
 【ヴイストン株式会社製】  
 ・Robovie-X シリーズ全機種  
 ・Robovie-nano シリーズ全機種  
 ・Robovie-i  
 ・Robovie-PC  
 ・Vstone Tichno

【日本遠隔制御株式会社製】  
 ・RB-2000  
 ・RB-300

音声認識や音声合成は、Windows 付属の標準機能 (Speech API 5) を使用します。残念なことに、Windows XP 以降に標準添付されている音声合成エンジンは、英語版のみです。日本語で会話するためには、Office XP/2003 にバンドルされた「LH Kenji」、「LH Naoko」や、クリエートシステム開発株式会社の「ドキュメントトーカ日本語音声合成エンジン」など、SAPI5 対応日本語エンジンをインストールする必要があります。